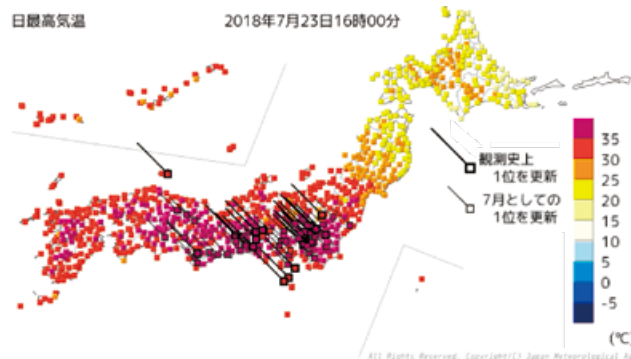


気温上昇

地球温暖化は、日本も例外ではありません。日本の2017年の平均気温は20世紀の平均から0.86℃高くなっています。2018年の夏は、7月に埼玉県熊谷市で日中の最高気温が歴代全国1位の41.1℃に達するなど、記録的な高温となり、7月16日から22日までの1週間で熱中症により全国で前年の同時期に比べて約3倍の23,191人が搬送される異常事態となりました。

● 2018年夏の記録的な高温(例)



資料：気象庁

コラム 2100年未来の天気予報

環境省では、現状を上回る温暖化対策をとらなかった場合の予測に基づき、「2100年未来の天気予報」という動画を作成しました。この動画では、2100年の天気予報として、例えば、東京の最高気温が44℃以上になると予想しており、局地的な大雨や干ばつなど、温暖化に伴う影響についても解説しています。



資料：環境省

● 2100年未来の天気予報【全国版】

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/topics/20180820-01.html>



ごみ・食品ロスの問題

日本でのお店や職場、家庭からの1年間のごみの総排出量は4,398万トンです(2015年)。このうち、お店や職場、家庭から出るごみの10分の1に当たる435万トンは廃プラスチックと推計されています。また、お店での売れ残りや家庭での食べ残しなどの本来食べられるはずの食べ物のごみ(食品ロス)だけで1年間に646万トン、国民1人1日当たり約140グラム(およそお茶碗1杯分)発生しています。

● 食品ロスダイアリー

身の回りの食品ロスの量を調べてみよう!



資料：環境省

ダウンロードはこちら!

